

水循環 貯留と浸透

Journal of Hydrological System

特集 / 気候変動 × 雨水

Special Edition : Climate change & Rainwater

2021
VOL.

121

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会

ASSOCIATION FOR RAINWATER STORAGE
AND INFILTRATION TECHNOLOGY

渋谷駅東口地下広告「あめちよ」…………… 2

■ 水想
等々力溪谷と都市の水循環
日本大学 文理学部 地球科学科 准教授 飯泉 佳子
…………… 3

■ 提言

マニュアル治水からの脱却の必要性…流域治水への転換にあたって
東京工業大学 名誉教授 石川 忠晴 …… 4

■ 特集
気候変動×雨水

・ 報文

URの防災公園街区整備事業—既成市街地の防災機能強化とにぎわい創出
独立行政法人 都市再生機構 都市再生部 公園課 …… 10
住宅・建築物における浸水対策 国土技術政策総合研究所 住宅研究部シニアフェロー 山海 敏弘 …… 15
雨水活用の普及と基準や制度 第二回気候変動と雨水活用シンポジウムより
特定非営利活動法人 雨水まちづくりサポート 理事長 神谷 博 …… 22

■ “雨やどり”

希有な出来事が連続することがある (公社) 雨水貯留浸透技術協会 顧問 松田 芳夫 …… 28

■ ARSIT フェローに聞く

水の環を人の環に～雨水協設立 30 年に想う 東京大学名誉教授 / 福島大学名誉教授 虫明 功臣 …… 29

■ 雨水貯留浸透に係わる事業及び制度紹介 シリーズ NO.76

水循環基本計画の見直しについて 内閣官房水循環政策本部事務局 伴 尚志 …… 32

令和 3 年度流域治水関連の動向について 国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 大上 陽平 / 池内 寛明 …… 36

■ 開催告知

ARSIT Learning Salon 開催告知 …… 40

■ トピックス

「雨水利用事例集」のご紹介 (公社) 雨水貯留浸透技術協会 …… 42

研究の現場を訪ねて (62) (株) プラネット 東京営業所 (公社) 雨水貯留浸透技術協会 総務部 平田 京子 …… 45

■ 雨水技術コーナー

技術評価認定 EGSM 工法 スピーダーレンタル (株) …… 46

雨水貯留浸透技術 Q&A (公社) 雨水貯留浸透技術協会 技術部 …… 49

■ 若手の声 (61)

1 年間業務を通して学んだこと 三井共同建設コンサルタント (株) 河川・砂防事業部 河川第三部 山川 夏葵 …… 55

■ 出版物・文献コーナー

「水都 東京 地形と歴史で読みとく下町・山の手・郊外」 陣内秀信 [著]

「地図とデータでみる水の世界ハンドブック」 ダヴィド・ブランション [著] …… 56

■ 雨水協会のページ

・ 雨水協会の動き (2020.12.16～2021.6.15) …… 57

・ 会員名簿・投稿のご案内 …… 59

・ 雨水協会の刊行物案内 …… 60

■ 次号内容予告・編集委員会名簿 …… 61

■ 雨水協会ホームページのご案内
雨水協会ホームページでは、協会のプロフィール、刊行物、助成制度、技術評価認定、会員名簿、入会案内、協会案内図などを掲載しておりますのでご利用ください。
(<https://www.arsit.or.jp>)

■研究の現場を訪ねて(62)

みどりの「力」とともに雨に強いまちづくりを目指す

株式会社プラネット 東京営業所

●インタビューー

平田 京子

HIRATA Kyoko

(公社) 雨水貯留浸透技術協会 総務部

今回は、4月にご入会いただきました(株)プラネット 東京営業所を訪問し、会社概要や協会入会への思い、今後の事業展開等について 経営企画室長 秋山礼子氏にお話を伺いました。

【会社の概要・特長】

(株)プラネットは、施設園芸の近代化を目指し、土壌の代わりに粘土を1200℃で発泡させた発砲煉石を植え込み材として用いた礫耕栽培「ハイドロカルチャー」を主力とした、植物の生産から都市緑化、植物工場の設計・施工・メンテナンスまで、オフィスから各家庭へ向けた植物関連事業を行っています。国内で観葉植物から屋外植物までハイドロカルチャー生産を行っているのはプラネットだけで、これが強みといえます。

また都市緑化には“水不足”“廃棄物”“農薬等”“地域による季節性”“建築の防水”“荷重”などの問題・課題点がありますが、雨水の利用も可能な節水型緑化や、プランターをリユースし廃棄量を軽減するなど、環境に配慮した緑化システムを構築し、各種問題点の解決に日々取り組んでいます。

【雨とのかかわり、そして今後の展開】

近年、雨庭による雨水貯留・浸透、流出抑制に期待が高まっています。

先日、「世田谷版 GI モデルケース “次大夫堀公園内里山農園における雨庭づくり”」(主催：(一財)世田谷トラストまちづくり)において、雨水浸透ます等設置時に必要な碎石の代用に、ハイドロカルチャーで使用するガラス発砲石のシリカソイルを用い、坪庭型雨庭の施工に協力しました。碎石に比べ軽くて扱いやすいことから、今後は個人住宅でも実践していただけることを願っています。

そして昨年より、国土交通省によるグリーンインフラの取組への支援事業もはじまりました。今後はみどりの力で雨水関連製品の開発に携わることを目指しています。入会を機に、異業種である他会員さんたちとのつながり、共創を促進し、雨水を活用した緑化に取り組むことでこの業界を盛り上げていきたいと考えております。



写真右が秋山室長 ※撮影時のみマスクを外しています

【インタビューーの感想】

植物に関わることで仕事の不安や緊張を和らげ、ストレスを緩和するメンタルヘルス効果が実証されている「バイオフィリア」の概念を取り入れた、まるで植物園のような画期的なオフィスでした。

雨にも植物にも互いが必要で、雨のプロフェッショナルである既会員の皆さまと共に、みどりと雨をつなぐ新たな緑化ビジネスの誕生を期待しています。